

安全な農作物を作るために

福岡県立八幡高等学校 普通科 2年7A班

リーダー: 小林快

池田康生 坂本虎之郎 中島稜太

田代太祐 宮部紀希 竹山誠樹

2

ZERO HUNGER



このテーマを選んだ理由

飢餓が起こる根本的なところに
農作物が関わる



安全な農作物を供給する為に
どのような技術²を伝えるべきか
疑問に思った



農業用水

不足は死活問題

→現状は農家の方々が

順番に節水を担当している状況

困る!!



原因: 私たちの各家庭で水を使いすぎていることで
農家用水で使う水が不足している

近年では日本国内また海外でも急激な気候変動が
起こるようになりました

砂漠地域

水が少なく農作物が
育ちにくい

水耕栽培のメリット

- ①小規模栽培が可能
- ②健康面では無農薬栽培が可能
- ③室内栽培が可能
→屋外よりも害虫リスクが低い
- ④農業用水にこだわらず水道水でも栽培可能
→厳しい水準をクリアしている

水耕栽培



懸念されるデメリット

費用がとても高い

- 水が腐りやすい
- こまめな交換が必要

設備だけで1平方メートルあたり**3万円**

南スーダンで考えましょう

人口 約1300万人
(日本の約10%)



アフリカの食料自給率の平均は約70%

南スーダンの自給率を70%に上げるためには
土地 約323億ha
費用 約970億円

水耕栽培食堂

日本の水耕栽培でとれた食材で料理提供
→1品600円



40%の240円を栽培費用として寄付

日本の食堂は月平均13万1000円
売り上げている

【人件費と光熱費を除く】

47都道府県に10店舗ずつ開店したと仮定し
すべての店が1年間順調に売り上げたとする

(式) $131000 \times 0.4 \times 10 \times 12 \times 47$

=2億9553万600円 ÷ 3億円

年間3億円で
南スーダンの食料自給率を

約0.3%上げることができる

数字的には低い(約323年かかる)
先進国の協力が必要
より多くの命を救うため

◎費用の寄付のみでは不十分

我々の答え: 日本の水道水技術
や栽培技術の
国際的な拡大も必要不可欠

- 1、安全な農作物つくるためには
【水】【環境】【栽培方法】が重要
- 2、国内及び海外でも水不足・食糧不足
が懸念される
- 3、日本を含める先進国の協力が必要